

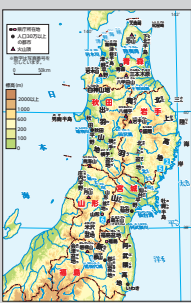
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.256-257 東北地方の自然環境
2. 目標 (1) 地図や写真などから、東北地方の自然環境の特色を読み取り、理解できる。
(2) 地形の特色や緯度の関係から、東北地方の気候の特色を考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・東北地方は南北に長く、大きな河川の流域には広い盆地や平野が形成されていることを理解している。
思考・判断・表現	・東北地方の南北と東西の気候について、地形や緯度と関連付けて説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見通し	0. 東北地方の写真の題材にし、「節の問い」への見通しを持つ。	 p.254 1  p.254 3  p.254 2  p.255 6 東北地方で、特色ある祭りや生活文化が見られるのはなぜだろうか。また、なぜ多くの観光客が訪れるようになったのだろうか。 「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	○ 写真から読み取れることや、東北地方について知っていることを話し合わせながら、本節への導入を図る。 ○ ねぶた祭りは毎年 300 万人近くの人出があることを補足しながら、東北地方の夏祭りには、多くの観光客が訪れていることに気付かせる。 ○ 「学習の見通し・振り返りシート」へ記入させ、節の学習の見通しを持たせる。
導入	1. 東北地方の地図を題材にし、範囲や形について話し合いながら、本時の課題をつかむ。 2. 太平洋側と日本海側の自然環境の違いを予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.256 1 東北地方の範囲や形について、気付いたことを挙げてみよう。 太平洋側と日本海側では、自然環境にどのような違いがあるのか予想してみよう。	○ 東北地方の南北の距離を測らせたり、中央部に山脈がはしっていることに気付かせたりしながら、本時への導入を図る。 ○ 地図帳のデジタル教科書の距離計測機能も活用する。 ○ 東北地方の太平洋側と日本海側の自然環境の違いを予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：南北に長い東北地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。			

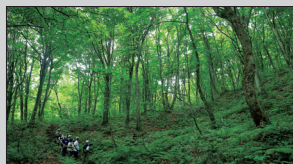
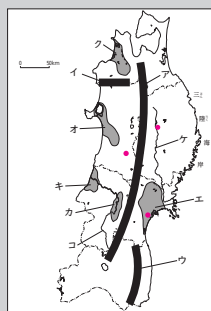
3. 東北地方の地形の特色を理解する。

4. リアス海岸の特徴を、三陸海岸を例に考えさせる。

5. 東北地方の気候の特色を、東西と南北の違いから理解する。

(1) 横手、盛岡、仙台の雨温図

(2) 東西の違いと南北の違い



p.256 3

東北地方の主な地形の名称をまとめてみよう。



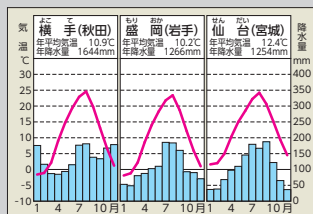
p.256 2



p.257 5

(例) 入り組んだ海岸線になっているため、入り江では波が穏やかで養殖業などに適しているが、入り江に津波が入り込むと津波が高くなるため、大きな被害を受けやすい。

リアス海岸の特徴をまとめてみよう。



p.257 7

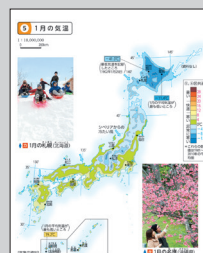
それぞれの都市の気候の特色をまとめてみよう。



p.257 6



地図帳 p.148 9



地図帳 p.148 5

東西と南北の気候の違いを比べてみよう。

6. 本時のまとめをする。

東北地方の気候の特色について、東西の違いに着目して説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ 学習プリントを活用し、東北地方の主な地形の名称をまとめさせる。

◆ 北上川と最上川の流れをたどらせ、流域に形成された盆地や平野の名称と位置を確認させる。

○ 学習プリントを活用し、リアス海岸の地形の特色をまとめさせる。

◆ リアス海岸は、波が穏やかな入り江では、良港となるところが多いが、津波の場合に被害が広がりやすいことを理解させる。

○ 津波の被害を後世に伝える取り組みが行われていることに触れる。

○ 横手、盛岡、仙台の気候の特色を雨温図から読み取らせる。

◆ 日本海側の横手は、冬の降水量が多いことに気付かせる。

○ 東北地方の気候の特色を、東西の降水量の違いと南北の気温の違いから考えさせる。

○ 南北の気候の違いは雨温図コンテンツの八戸といわきの雨温図も活用する。

◆ 東北地方の東西では冬の降水量と夏の気温、南北では年間の気温が異なることに着目させる。

◆ 太平洋に面した東側はやませの影響で夏の気温が低くなり、日本海に面した西側は冬に季節風の影響を受けて雪が多くなることを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。